

委員会視察 レポート

閉会中に実施した視察について、5月29日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

暑中お見舞い
申し上げます
平成29年 盛夏



総務委員会

愛知県刈谷市／兵庫県神戸市

利用団体などの幅広い意見を 取り入れた施設づくり



▶5月11日 刈谷市総合文化センターアイリスにて

刈谷市は、市民ホールや生涯学習センターが入る総合文化センターアイリスを整備する際、利用団体の意向を確認するだけでなく、ユニバーサルデザインを導入するため、障害者団体など、約30団体から意見聴取を行い、その意見を施設設計に反映していました。神戸市は、宿泊施設

やスポーツ施設、社会福祉施設など、34施設が入る「しあわせの村」を整備しています。ここでは、ユニバーサルデザインの基準に対応するため、利用者などから意見聴取を行い、ハードとソフトの両面から、今後の整備計画を策定していました。

【検証の結果】

刈谷市は、当事者団体の意見を施設に反映していること、神戸市は、具体的な整備計画を策定して、計画的に進めている点が参考になりました。

健康福祉委員会

熊本県山鹿市／福岡県大牟田市

認知症の人が地域で暮らせる よう支援する取り組み

山鹿市は、認知症の人を支援する人材の育成や、認知症の人を支援するネットワーク体制の確立などの認知症施策を進めていました。大牟田市は、地域で認知症ケアのマネジメントや質の向上をアドバイスできる専門的な人材の育成や、子ども

「地域認知症ケアコミュニケーション推進事業」に取り組んでいました。

【検証の結果】

山鹿市、大牟田市では、多様な人材、専門的な人材の育成、認知症の人の地域支援ネットワークの形成、子どもなど、幅広い世代に対する認知症施策の実



▶5月12日 大牟田市役所にて

施により、住民が認知症を正しく理解し、支え合い、認知症の人が地域で安心して暮らせる地域社会づくりが行われており、参考になりました。

文教・建設委員会

大阪府池田市／大阪府箕面市／京都府京都市

小中一貫校の設計には現場の 声を反映させることが重要

池田市のほそごう学園では、昇降口の分散配置や選択性のある動線の確保、正門とグラウンドを見渡すことができる小中合同の職員室など、施設一体型小中一貫校ならではの工夫がされていました。また、将来、教室を使い回すことを想定し、容易に高さの調節が可能な黒板を設置するなど、小学生・中学生どちらでも使用できる教室となっていました。



▶5月8日 池田市・ほそごう学園にて

箕面市の彩都の丘学園では、施設設計の際、現場の声を徹底的に聴いており、教職員が各科目ごとのワーキンググループに分かれ設計図を見ながら、意見を出し合

っていました。その際、費用やスペースの制約を提示することで、議論拡散の防止を図っていました。

京都市では、施設一体型小中一貫校を造る際は、将来、その学校の校長となる者をトップに据えた開設準備室を設置し、どのような運営を行うのかというソフト面を考えてから、設計に反映させていました。

【検証の結果】

3市とも、施設一体型小中一貫校を設計する際は、現場の声の反映に努めており、どういった使い方をするかという運営内容を先行して検討することが大切であると感じました。

市民生活委員会

兵庫県高砂市／大阪府枚方市

防犯カメラの設置で 地域の安全・安心を確保

高砂市は、地域安全まちづくり活動を防犯設備面から支援するため、県および市の補助事業により、防犯グループ等の地域団体に対し、防犯カメラの設置に要する経費の補助を行っています。枚方市は、地域の安全・安心を確保することを目的に、駅周辺や全小学校区へ計329

域団体の負担が懸念されると感じ、枚方市への視察を通じては、本市においても、犯罪の抑止につながる防犯カメラの設置を1台でも多くすべきではないかと感じました。

【検証の結果】

高砂市は、防犯カメラの維持管理を行う地



▶5月12日 枚方市役所にて

議員の寄附禁止のルール

議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。また、有権者が議員に対し、寄附を求めることも禁止されています。

贈らない！

議員がイベント等で寄附をすること。

求めない！

有権者や町会等各種団体が議員に寄附を要求すること。

受け取らない！

議員が寄附を持ってきても有権者や町会等各種団体は受け取らないこと。